

21世紀文明研究セミナー

## 市民がつくる共生社会 －「お金」がつなぐ寄付者と社会－

2013年11月6日

公益財団法人ひょうごコミュニティ財団 専務理事

認定NPO法人 市民活動センター神戸 理事・事務局長

実吉 威



## 自己紹介

1966年 大阪生まれ

1995年 阪神・淡路大震災を契機に市民活動を始める  
震災・活動記録室

1999年 市民活動センター・神戸

2010年 市民活動センター神戸、認定NPO法人に

2011年3月 東日本大震災(被災地NPO応援基金など)

2013年6月 ひょうごコミュニティ財団設立(専務理事に)

認定NPO法人 市民活動センター神戸 理事・事務局長

NPO法人 市民社会創造ファンド 運営委員(理事)



# ひょうごコミュニティ財団とは



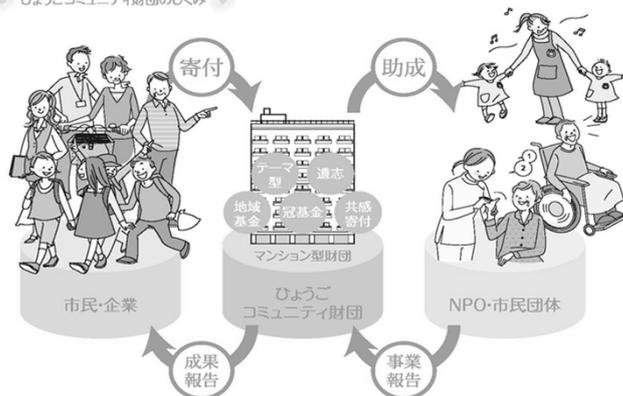
1. 市民の活動を資金面で応援する
2. 市民の活動を資金面で応援したい人を応援する

この2つを目的に、市民により設立・運営される  
財団(市民ファンド／市民コミュニティ財団)

# ひょうごコミュニティ財団とは



ひょうごコミュニティ財団のしくみ



募金・寄付

地域基金

あなただけの地域を、もっと元気にする基金

冠基金

個人や企業名などを冠し、絆をより一層強める基金

共感寄付

応援したい団体の事業を助成

テーマ型

子ども、災害、環境などのテーマ別基金

遺志

ご遺志を託していただく基金

## 問題意識



**NPO法**(特定非営利活動促進法、1998年)から**15年**、  
**公益法人制度改革の5年**(2008年~2013年11月まで)、  
**NPO(広義)**は「**公共の新たな担い手**」になっているのか

◇法人数は増えたが、実態は？

(2013年11月1日現在で2001のNPO法人)

- ・法人の規模 ⇒ 約半数が500万円未満
- ・財源構成 ⇒ 自己資金の弱さ
- ・人材、専門性 ⇒ ……

## 問題意識



「熱い思い」や「みずみずしい理念」で始めたはずの  
市民活動が、時とともに疲弊し、継続のための活動  
に陥っていないか。

次世代や新しい参加層を増やせているか。

「現場からのメッセージの発信」(問題提起、多様な  
価値観の表明)という本来の本質は失っていないか。

特に、兵庫は大丈夫か。

「NPO・ボランティアの先進地」⇔「周回遅れ」

## 問題意識



他方で、寄付という形、ボランティアという形での  
社会参加を求めている人は多い

= 両者のマッチングが十分になされていない

<社会課題の解決>と<市民の当事者性の涵養>  
は市民活動・市民事業の根幹の両輪であるはず

⇒多分に「仕組み」「構造」の問題だろう。

両者をつなぐ仕組み、市民参加を促す仕組みを  
どう作るか

## ひょうごコミュニティ財団とは



兵庫県下6つの中間支援組織が呼びかけ人となり設立

認定NPO法人  
市民活動センター神戸

特定非営利活動法人  
場とつながりの  
研究センター

シミンズシーズ

community  
link

宝塚NPOセンター  
TAKARAZUKA NPO CENTER

特定非営利活動法人  
市民事務局 かわにし



ひょうごコミュニティ財団  
HYOGO COMMUNITY FOUNDATION

## ひょうごコミュニティ財団とは



- |           |  |
|-----------|--|
| 2011年3月   | 認定NPO法人 市民活動センター神戸(KEC)が東日本大震災に際し「被災地NPO応援基金」を設立、寄付を募る         |
| 2011年7月   | 前記6団体で、兵庫県地域づくり活動支援事業「寄附募集支援事業」を受託し、財団設立準備を開始<br>設立応援人を募集      |
| 2012年5月   | 応援人500人達成(現在、応援人561名)  |
| 2012年10月  | KECを実施主体とした、「共感寄付」助成事業を開始                                      |
| 2013年1月   | 上記6団体をメンバーとした、ひょうごコミュニティ財団設立準備会を設立<br>団体名称を確定                  |
| 2013年2月   | 「ひょうごコミュニティ財団設立応援フォーラム」を開催(参加者111名)<br>公募によりロゴを決定。設立寄付金の募集を開始。 |
| 2013年6月6日 | 設立寄付金が135名から301万円集まり、一般財団法人を設立                                 |
| 2013年7月8日 | 兵庫県公益認定等委員会より公益認定を受け、「公益財団法人ひょうごコミュニティ財団」に                     |

## 役員等



- |      |   |   |
|------|---|---|
| 評議員  | 加藤恵正<br>木田薫<br>小森星児<br>高士薫<br>竹中ナミ<br>中田豊一<br>西河紀男<br>早瀬昇<br>水野雄二<br>三野哲治<br>三井ハルコ<br>山本進 | 兵庫県立大学政策科学研究所教授<br>(特活)ソーシャルデザインセンター淡路理事長<br>神戸復興塾塾長、ひょうごボランティアプラザ名誉所長<br>㈱神戸新聞社代表取締役社長<br>(社福)プロップステーション理事長<br>(認定特活)市民活動センター神戸理事長<br>三ツ星ベルト㈱代表取締役会長<br>(認定特活)日本NPOセンター代表理事<br>神戸YMCA総主事<br>住友ゴム工業㈱代表取締役会長<br>(特活)市民事務局かわにし副理事長・事務局長<br>(特活)コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク副理事長 |
| 理事長  | 下村 俊子   | ㈱神戸風月堂代表取締役会長   |
| 副理事長 | 島田雄三<br>田中茂   | 前兵庫県司法書士会会長<br>(特活)シミズシーズ理事長  |
| 専務理事 | 実吉威   | (認定特活)市民活動センター神戸理事・事務局長   |
| 理事   | 川中大輔<br>佐藤等史<br>永田譲蔵<br>中山光子<br>村上早百合<br>室崎益輝   | シチズンシップ共育企画代表<br>(特活)場とつながりの研究センター理事長<br>ひょうごコミュニティ財団<br>(認定特活)宝塚NPOセンター理事・事務局長<br>神戸新聞 地域総合研究所副所長兼企画調査部長<br>関西学院大学災害復興制度研究所顧問、ひょうごボランティアプラザ所長  |
| 監事   | 津久井進<br>馬場英朗  | 弁護士<br>税理士・公認会計士  |

## 役員等



顧問 永田萌 絵本作家

専門アドバイザー 阿部陽一郎 (社福)中央共同募金会企画広報部長  
今田忠 元阪神・淡路コミュニティ基金代表、市民社会研究所所長  
鶴尾雅隆 (特活)日本ファンドレイジング協会代表理事  
荻野俊子 NPO会計支援センター代表  
木村紀雄 兵庫県企画県民部 県民文化局 協働推進室 室長  
久保幸一 日本政策金融公庫 神戸創業支援センター所長  
茶野順子 (公財)笹川平和財団(SPF)常務理事  
細谷崇 (特活)コミュニティリンク代表理事  
松井薫 (株)電通関西支社関西クリエイティブ局長  
渡辺元 (公財)助成財団センター・プログラム・ディレクター

## なぜNPOへの寄付が増えないか



### 1. 「接点」が少ない

NPO法人だけで、県内で2000法人を超える

- ・選べない
- ・直接知る機会がない
- ・信頼していいかどうか分からない

<http://www.hyogo-intercampus.ne.jp/v-hyogo/>

⇒ならば、

### 2. NPO自身の努力不足

⇒ならば、

## 財団の事業の柱



(助成・ファンドレイズ)

- ◆ 共感寄付…接点を増やす、「税制優遇」という機能を届ける
- ◆ 冠基金、テーマ型基金
- ◆ 寄付つき商品の開発…接点を飛躍的に増やす

(社会貢献活動の支援)

- ◆ 地域のミニ基金、企業のCSR基金の支援…応援したい人を応援する
- ◆ NPOへのマネジメント支援  
…お金を「得る力」だけでなく「使う力」もサポート

(地域シンクタンク)

- ◆ 地域課題の調査 …財団として力を入れるべき領域を知る  
パートナー(NPO等)を探す

⇒ まだ始まったばかり。

3年かけて基盤を確立、5年後に年間5千万円の規模に。

## 今年度の事業



◆ ファンドレイズと団体訪問・課題調査

◆ 寄附に関する啓発事業(神戸市委託)

- (1) 制度の広報(パンフレット作成等)
- (2) NPOのファンドレイザー養成講座
- (3) 企業の寄附に関する意識調査 …この中で営業活動
- (4) 企業と市民ファンド、NPO等の交流会開催

◆ 寄付募集を通じた地域課題PRにより課題を解決するモデルづくり事業  
(ひょうごボランティア基金助成)

- (1) 県内各地で対話集会を開催 …「但馬」「西播磨」「淡路」の3地域 ⇒ 全県で

(「旧ジョネス邸」保存運動など)

◆ 共感寄付第3期、準備

◆ 公益財団化記念パーティ(11/7)

◆ 助成財団担当者のための実務セミナー(11/7)

◇ 共感寄付第1期(6団体:1,733,999円、146件)、第2期(6団体:548,177円、55件)

◇ ファンドレイズ支援事業 …セミナー&個別支援(アドバイザー派遣)

◇ 認定NPO相談

※以上、◇はKECの事業

## 課題



### 1. 認知度を上げる

- ・支援いただくよりも、知っていただくこと

### 2. 財団の活動自体へのボランティア参加の推進

- ・ファンドレイザー
- ・市民研究員(地域調査)
- ・市民レポーター(活動の紹介; 共感寄付など)
- ・市民コンサルタント(助成先へのコンサルティング)

### 3. 自主財源の確立

- ・運営への寄付
- ・賛助会員 など

ご清聴ありがとうございました。

ひょうごコミュニティ財団

